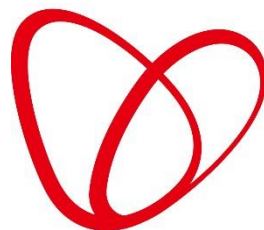




健康食品・化粧品を受託（OEM）総合メーカー



株式会社 **AFC-HD**
アムスライフサイエンス



第42期（2022年8月期）株主総会資料
（2021年9月1日～2022年8月31日）



連結 決算の状況

連結 業績比較表（直近3期間）

（単位：百万円）

連結	2020年8月期 実績	2021年8月期 実績	2022年8月期 実績	前期比率
売上高	15,819	22,368	22,997	※ 今期より、新収益認識基準を適用しております。 売上高及び利益面において影響が生じるため、対前期比率は記載しておりません。 なお、従来の会計基準の場合の売上高は、32,613百万円（対前期比145.8%）です。
営業利益	1,093	2,245	1,011	
経常利益	1,099	2,161	1,343	
親会社株主に帰属する 当期純利益	676	1,495	735	
経常利益率	7.0%	9.7%	5.8%	

増収要因：連結子会社が増加したことに加え、医薬品事業の売上高が前年同期を上回った。

減益要因：新たに加わった連結子会社が、新型コロナウイルス感染症による影響を受け、営業利益について減益となった。しかし、飲食事業において雇用調整助成金があり、経常利益については減益額が抑えられている。

連結 資産の状況

※借入・社債・割賦未払金

(単位：百万円)

連結	2021年8月期	2022年8月期	対前期増減額
資産合計	35,752	37,348	1,596
内訳 流動資産	15,852	17,125	1,272
固定資産	19,900	20,223	323
負債合計	23,091	24,903	1,812
内訳 流動負債	11,802	13,218	1,416
固定負債	11,289	11,684	395
純資産	12,660	12,445	△215

資産：のれんの償却が進んだことにより無形固定資産が195百万円、商品及び製品が108百万円減少した反面、現金及び預金が1,155百万円、連結子会社の(株)さいか屋の商品券保証金預け入れなどにより投資その他の資産が608百万円増加した。

負債：1年以内返済予定の長期借入金844百万円、未払法人税等が471百万円減少した反面、短期借入金が2,853百万円、支払手形及び買掛金が447百万円増加した。

純資産：親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が459百万円増加した反面、(株)さいか屋が発行したA種優先株式の全部を(株)横浜銀行から取得したことにより、非支配株主持分が737百万円減少した。

健康食品・化粧品品の製造

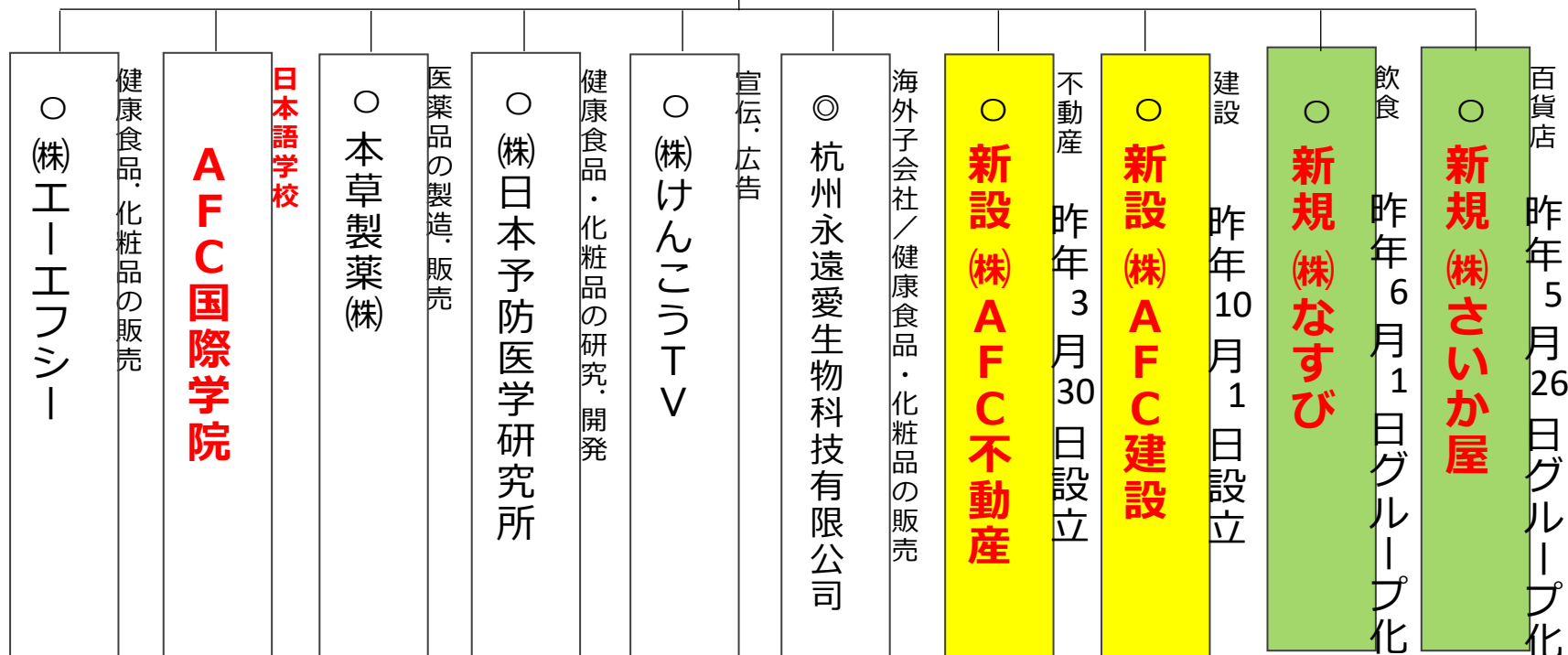
【当社】(株)AFC-HDアムスライフサイエンス

凡例

- 国内連結子会社
- ◎ 海外連結子会社

当社設立

M & Aによりグループ化



当社グループは、新業態への進出による経営の多角化と自社グループ内に様々な業態を持つことにより、自社グループ内で全てを完結する複合企業体を目指しております。

当社グループの国際化へ向けて



日本語学校の外観（静岡市）



2階 教室



4階 教室

AFC 国際学院

- ・ 2022年 6月 申請
- ・ 2022年11月 認可取得
- ・ 2023年 4月 開校 予定



将来、海外進出のために現地幹部候補となる人材を育成



海外における競争力をつけ、AFCブランドの更なる飛躍を目指す

AFC-HDアムスライフサイエンスグループ

事業報告と今後の取り組み





OEM部門 AFC-HDアムスライフサイエンス

2022年8月期

◆市場

過度な広告表現に対する行政指導が強まる中で、機能性表示食品ではない一般の健康食品は広告を控える傾向にある。



- 機能性を表示できるダイエット関連製品の受注が堅調に推移
- ネット通販業の顧客において、一般の健康食品から機能性表示食品への切り替えが活発に進み、受注が回復し始めた

◆市場

外出を控える高齢者の運動不足による膝や筋肉の衰えへの不安に対する対策として、需要が高まっている。



- 関節ケア製品（プロテオグリカン、グルコサミン等）の受注が堅調に推移



2023年8月期

◆市場

健康機能の表示が可能な機能性表示食品の展開移行が強まっている。



- 引き続き、機能性表示食品の製品開発・提案に注力する

原料メーカー・顧客・当社グループの学術部門（日本予防医学研究所）と連携を取りながら、届出支援を含む提案営業、製品開発を一層強化していく



- 生産設備において、機械化を検討
 - ・省人化
 - ・納期短縮効果



製造 AFC-HDアムスライフサイエンス 学術 日本予防医学研究所



国吉田工場（静岡市駿河区）



NAHA ハラル認証マーク

- 認証団体：NAHA（Nippon Asia Halal Association）
- 2022年2月、国吉田工場で製造するイスラム圏向け2製品のハラル認証の取得を確定
（製造設備の一部をハラル対応とし稼働）
- 2022年8月に、ハラル認証取得の製品を海外顧客に出荷した



千葉工場
（千葉県長生郡長南町）

- 認証団体：NAHA以外を予定
（取得の難易度が高い）
- 取引先より認証取得の依頼を受ける
- 2022年7～10月：千葉工場の改修工事
- 2024年目標：千葉工場で製造するイスラム圏向け製品のハラル認証取得を目指す



国際部(AFC)のハラル圏売上拡大のため、研究開発部門(NYK)と製造部門(AMS)がバックアップする

2022年8月期

【通信販売】

■ 越境ECでの受注が増加

- ・ 中国 独身の日(11月11日)におけるセールイベントの実施



【海外販売】

■ 既存顧客における美容商材の受注が好調

【店舗販売】

■ 活動制限の緩和を受け、来客数増加及び催事・相談会等の実施数増加により増収



2023年8月期

【通信販売】

■ 越境ECの販売を強化していく

- ・ 販促物の協賛やライブコマースを強化

【海外販売】

■ 既存顧客への拡販

- ・ 円安メリットを活かす

【店舗販売】

■ 自社製品販売シェアの拡大

- ・ キャンペーン目標の確実な達成
- ・ セミナー、測定会で体験型イベントを強化

■ 販売力のアップ（人材の育成）

- ・ 勉強会による商品知識の増強と、コンサルティング販売の基本を習得

■ ジェネリック医薬品の好調

- ・ ピムロ顆粒（下剤）
- ・ シルデナフィル錠（生活習慣改善薬）
- ・ フィナステリド錠（AGA治療薬）
- ・ タダラフィル錠（生活習慣改善薬）



2017年11月発売



2014年9月発売



2016年12月発売



2020年4月発売

販売を強化してきた利益率の高いジェネリック医薬品の売上比率が高くなり、粗利益率が改善

■ 漢方薬のOEM受注が好調

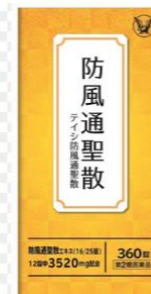
- ・ 投資した医薬品の生産設備を活用
- ・ 稼働率が上がったことにより、粗利率が向上
- ・ 新規設備により、西洋薬への進出



八味地黄丸エキス錠



ヨクイニン錠



防風通聖散エキス錠

安定的に黒字が出せる体制になった

2021年5月26日 連結子会社化 <のれん914百万円>

- ・創業明治5年、神奈川県地盤の百貨店（創業150年）
- ・藤沢店、横須賀店、川崎店(サテライト)の3店舗を展開



藤沢店

早期の黒字化に向けて、収益改善の施策 5 項目

①借入金の支払利息を削減

当初、さいか屋の銀行借入金 67億円

AMSが80億円を融資し、銀行借入金を全額返済
(融資実行：2021年6月30日)

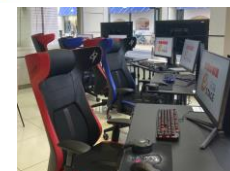


支払利息 年間 約1億1,000万円の削減



横須賀店

娯楽の殿堂
さいか屋 eSTAGE



②商品券の保証料を削減

商品券の発行保証金について、当初、銀行及び保証機関と発行保証金保全契約を締結
A F C が 6 億2,500万円を融資し、現金供託に変更
(融資実行：2022年2月25日)



AFC融資	6億2500万円
百貨店協会戻り金	2億 800万円
さいか屋	3100万円
計	8億6400万円

支払保証料 年間 約 **820万円**の削減

③役員の人件費を削減

役員数 3 名減 等、役員人件費を削減

役員の人件費 年間 約 **2,290万円**の削減 予定

④支払家賃を削減

家賃軽減について、地権者と交渉を継続中

⑤歩率 2 %改善

取引先に、窮状を説明し、
全体の歩率 2 %改善のご協力をお願いする

年間 約 **3億円**の削減 予定

2022年8月期 3,800万円の経常黒字

飲食を中心に、コロナ収束に向けた戦略と収束後の戦略

■ 先行投資（見直しと改善、新規店舗および新規事業）

① 前期オープン3店舗の見直しと改善

焼肉店「すだく」、回転寿司「沼津港一富士丸」、ベーカリーカフェ「ギャレイ」
(10月4日オープン) (10月26日オープン) (11月10日オープン)



2022年12月9日リニューアルオープン
名称変更「肉ときどき米」

② 新規店舗（静岡駅南口に新たな旗艦店） 2023年7月～9月予定

③ 新規事業（海外店舗、輸出事業）

前期までの守りと状況把握に翻弄された流れから、反転
既存店の回復、新業態の挑戦を新たな収益源への進化へ。
さらに、時代にマッチした店舗、新事業への挑戦。

■ ソーラーパネルを設置し、CO2排出削減

2022年7月22日

第二工場屋上に、太陽光発電設備を設置

- ・ 年間 約35tのCO2排出削減
- ・ 年間 約74,000Kwhの発電量 = 年間 約130万円の電気代削減



第二工場屋上（静岡市駿河区）

■ SMETA監査適合評価

2022年1月19日

SMETA監査において、当社管理の適正性が認められました。

労働
基準

安全
衛生



- ・ SMETA監査は、世界で最も広く使われている社会監査基準の一つで、労務・労働安全衛生・環境・ビジネス倫理の監査が第三者機関により行われます。
- ・ 認証により、Amazonサイトにおいて「限定ブランド」が付く等、信用力や露出度UPにつながります

新規・新設事業の今後の方針

■ さいか屋

早期の黒字化に向けて、収益改善の施策を実行

■ なすび

既存店の回復、新店出店への挑戦

■ AFC不動産

グループ資産を活用し、収益をあげる

■ AFC建設

将来のさいか屋再開発を見こして設立

■ AFC国際学院

将来、海外進出のために現地幹部候補となる人材を育成

海外における競争力をつけ、AFCブランドの更なる飛躍を目指す

AFC-HDアムスライフサイエンスグループ

業績予想



2023年8月期 連結予想

(単位：百万円)

連結	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期 通期予想	対前期 増減率
売上高	22,368	22,997	24,741	107.6%
営業利益	2,245	1,011	1,481	146.5%
経常利益	2,161	1,343	1,435	106.9%
親会社株主に 帰属する当期 純利益	1,495	735	800	108.8%

最後まで御覧いただきまして誠にありがとうございました



本資料に関するお問い合わせ

会長室

TEL : 054-281-5238

FAX : 054-281-5139

E-mail : ir-ams@ams-life.com

URL : <https://www.ams-life.co.jp/>

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスク・不確実性が含まれています。
そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述している将来の見通しと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。